

## 5階南病棟紹介

5階南病棟は41床の一般外科（消化器・血管・胸部・乳腺外科を含む）と3床の重症病床の病棟です。メンバーは師長・主任を含め看護師28名、看護補助者2名です。入院患者さんは、周術期が主ですが、内視鏡を用いた検査・治療を受ける方々や終末期の患者さんと幅広く看護を行っています。

急性期看護では人工呼吸器やモニターのアラーム音が鳴り響く中、高齢者の患者さんが増し、認知症やせん妄の患者さんも少なくありません。離床センサーが鳴り響くめまぐるしい環境の中、心と外を眺めるとニミッツパークの風景や四季折々の山々は、患者さんばかりではなく私達の癒しにもなっています。

看護師は、患者さんに質の高い安全な医療の提供が出来るよう積極的に研修会に参加し、周術期の看護・化学療法・緩和ケア・創傷ケア・栄養療法などを学び日々の実践に活かしています。また、今年度より重症病床を有することとなり、救急看護についての学習を更に深めています。

また、急性期の治療を終え、自宅へ退院する患者さんに対して、引き続き一定期間の治療やケアが行われる亜急性期病棟への調整など、在宅退院に向け医師・看護師・MSW・その他関連職種が共同して退院に向けた支援を行っています。看護師は20～30代が最も多く、50代と幅広く勤務しております。またママさん看護師も多く、子育てと仕事の両立をしながら、みんなで協力体制を作り、働きやすい環境を目指し、明るく元気に頑張っています。

病棟師長 片山範子

